

第6学年 外国語活動学習指導案

日 時：平成27年10月20日

学校名：千葉市立小中台南小学校

展開学級：6年1組

授業者：窪田 美幸

1 単元名 Let's go to England. 「一緒に世界を旅しよう。」 (Hi, friends 2 Lesson 5)

2 単元について

世界には様々な国がある。東京オリンピックが5年後に開催されることになり、子供達も世界各国の国名を耳にする機会が多くなっていると思われる。また、昨年度の総合的な学習の時間では、世界の様々な人々の暮らしについて学び、関心を深めることができた。このような状況の中で本単元を設定した。

本単元は、世界には様々な人たちが多様な生活をしていることに気付いたり、英語はコミュニケーションの道具の一つであることを知り、伝えたいことを進んで英語で話してみようという意欲をもったりすることを主なねらいとしている。

まず初めに、自分が行ってみたい国について調べる活動を行う。その国の食文化や遺跡等を調べていく中で、他国の文化を知ることの楽しさや自国の文化との違いに気付くであろう。世界各国において様々な生活や文化、伝統があることを知り、世界に向けての視野を広げていくとともに、自分達の暮らす日本の生活に興味関心をもてるようにしたい。

本単元のゴールは自分の行きたい国について発表し合うことである。まず“Where do you want to go?” “I want to go to~.”等の表現を使って聞くこと及び話すことに慣れさせていく。また、それらの活動を通じて、自分ならどこの国に行きたいか、友達はどこな国に興味があるのだろうかという関心を高めていく。そして、コミュニケーション活動を通して、友達はどんな理由でその国に行ってみたいのか興味をもって尋ねたり聞いたりするようにさせたい。本時では、英語を使って友達におすすめの国の紹介をしたり、友達の紹介を聞いたりする活動を行う。しかし、自分の考えを十分に表す英語の表現を子供達はまだ持ち合わせていないので、ジェスチャーや写真、イラスト等を使ってのパフォーマンスを用い、伝える楽しさを実感させたい。そうすることで、言葉だけに頼らずに、伝えたいことを生き生きと表現できると考える。そうすることで、子供達は今まで知らなかった友達の新たな一面を発見するとともに、コミュニケーションを図る楽しさを味わうことができるだろう。更には、互いの理解を深め、良好な人間関係づくりにもつなげていきたいと考える。

子供達はこれまでの学習活動を通して、外国語活動に対する不安やコミュニケーションをとることへの恥ずかしさが少しずつ薄らいできた。しかし、中にはみんなの前で自分を表現することが苦手で、はっきりとした声や態度でコミュニケーションをとれない子供も見られる。そこで、ゲームを介しての英語の表現に慣れ親しむ活動や、少人数グループでのインタビューゲーム等の繰り返し練習ができる機会を多く取り入れ、英語の発音やリズムに十分慣れさせ、自信をもってコミュニケーションできるように支援していく。一人一人の子供の小さな進歩は担任だからこそ見つけることができるので、頑張っているところを見取り、称賛することで、自信をもって進んで表現しようとする意欲につなげていきたい。

3 児童の実態（男子17名 女子17名 計34名）

○実態調査（平成27年7月7日 実施）

問1：外国語活動の時間、どのように活動をしていますか。

大変楽しく活動している 14人 楽しく活動している 18人

あまり楽しく活動していない 2人

⇒その理由は何ですか。

[大変楽しい・楽しい]

あいさつ 12人 会話 14人 歌・ジェスチャー 8人 ゲーム 28人

[あまり楽しく活動していない]

英語がわからない つまらない

問2：英語を使って、外国の人と話してみたいと思いますか。

とてもそう思う 8人 そう思う 22人 あまり思わない 2人 思わない 2人

⇒その理由は何ですか。

[とてもそう思う そう思う]

外国人とあいさつなどができるようになってきたから。 12人

外国のことがらについて面白いと思えるようになってきたから。 14人

世界が広がりそう。 24人

大人になってから役立つ。 25人

[あまり思わない 思わない]

好きではない。 少ししかわからない。 話せない。 恥ずかしい。

問3：外国語活動を通してどのようなことを身に着けたいと思いますか。

外国の生活についてわかるようになりたい。 12人

外国の人に自分の思っていることを話せるようになりたい。 26人

外国の人が話す英語を聞いて、内容がわかるようになりたい。 27人

自分の思っていることを英語で書けるようになりたい。 15人

英語で書かれた単語や文章などを読んでわかるようになりたい。 13人

中学校の英語学習につながるような勉強がしたい。 23人

(複数回答)

本学級は、外国語活動に楽しく取り組んでいる児童が多い。特にゲーム活動には意欲的に取り組み、とても楽しみにしている。しかし、会話をする活動には消極的で、話しかけられずに時間を過ごしてしまう児童も見られる。相手を見つけられるように常に担任が支援に入る児童も数名いる。実態調査から見ても、会話を楽しいと感じる児童は半数以下である。しかし、英語を使って話せるようになりたいと思っている児童は全体の82%であり、「英語で伝えたい」と考えている児童が多いことがわかった。

そこで、担任が行う授業の中では、児童が自信をもてないところを見つけ、意欲的に取り組めるようにしていくための手立てを考えながら指導していくことで、外国人講師が行う授業の中でも伝え合うことに自信をもって取り組めるように学習内容を構成した。児童が不安を覚えるのは、単語の言い方や発音がその割合を多く占めることがわかってきたので、朝の学習タイム15分間の中で、発音の練

習や新しく使う表現方法に慣れ親しむ活動を取り入れた。また、本単元では、互いに尋ね合う活動を多く取り入れた。今回の学習のまとめでは、友達から紹介された情報も生かして、自分の行きたい国について発表する。伝え合う楽しさを実感させながら、達成感を味わわせたいと考える。

また、言葉だけがコミュニケーションの方法ではなく、ジェスチャーを使うことも立派なコミュニケーション方法の一つであると伝え、相手にわかりやすく伝える工夫をさせていく。伝えるだけでなく、相手の発表や意見をしっかりと聞く姿勢も身に付けさせていきたい。

中学校への進学が近づきつつあり、児童の英語活動に対する考えは「楽しい学習」から「中学校からは試験が伴う学習になる」という考えに変化しつつある。学習指導要領に定められた小学校外国語活動の目標は、「コミュニケーション能力の素地を養う」ことである。小学生の段階でその素地ができていれば、中学校で学ぶ内容の理解や今後の英語学習の充実につながっていくという意識をもって指導していきたいと考える。

4 単元の評価規準

- (1) 行きたい国・おすすめの国やその理由について絵やジェスチャーなどを用いて、積極的に伝えたり、興味をもって、友達の紹介を聞いたりしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- (2) 慣れ親しんだ英語表現を使って、自分が行ってみたい国とその理由を言っている。

【外国語への慣れ親しみ】

- (3) 世界には様々な人達が多様な生活をしていることに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

5 単元の指導計画

時	主な活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準<方法>
1	世界では、様々な人々が生活をしていることを知り、世界に興味をもつ。 What country? It's~.			○	・世界の国々に興味をもち、どこの国の様子なのか気づいている。 <行動観察・振り返りカード>
ハロー タイム	行きたい国とその理由を伝え合う言い方の練習をする。 Where do you want to go? I want to go to ~. I want to see/eat/play~.		○		・行きたい国やその理由の言い方を知り、進んで使おうとしている。 <行動観察>
2	自分が行きたい国とその国でしてみたいことについて調べる。			○	・行きたい国の文化について意欲的に調べている。 <行動観察・ワークシート>
3	行きたい国とその理由について伝え合う表現に慣れ親しむ。		○		・国名を聞いたり話したりするとともに、行きたい国について聞いている。 <行動観察・振り返りカード>
ハロー タイム	行きたい国を紹介する言い方の練習をする。 What country? I want to go to ~. You can see/eat/play~. Let's go to~!		○		・行きたい国やおすすめの国について伝え合う言い方を知り、使おうとしている。 <行動観察>

4 本時	児童同士で、行きたい国について紹介し合う。	○		<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国やおすすめの国についていろいろな表現方法を使って紹介したり、それを聞こうとしたりしている。 <行動観察・振り返りカード>
ハロー タイム	スピーチメモをつくる。		○	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国を伝えるために、知っている表現を使ってスピーチメモを作っている。 <スピーチメモ>
5	相手にはっきり伝わるように自分の行きたい国とその理由を発表する。	○		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、行きたい国について発表したり聞いたりしている。 <行動観察・振り返りカード>

6 本時で扱う語彙・表現

- Where do you want to go? ○ I want to go to ~. ○ I want to see/eat/play~.
 ○ You can see/eat/play~. ○ What country? ○ Let's go to~!

7 本時の指導（4/5）【朝のハロータイム3回、外国語活動5回】

(1) 目標

- ① 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの数について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
 ② 行きたい国やおすすめの数について尋ねたり言ったりする活動に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
 ③ 世界には様々な人達が多様な生活をしていることに気付く。 【言語や文化に関する気付き】

(2) 展開

過程	学習内容と児童の活動	・指導上の留意点 ◎評価	活動の種類	準備物
挨拶 (5)	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする。 T: Hello. How are you? S: I'm fine/happy/hungry. ウォーミングアップをする。 Cookie Chants 	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔で、元気よくあいさつする。 英語活動に向けての雰囲気づくりを心掛ける。 	T-S S-S	
復習 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国を紹介する言い方を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~. You can see/eat/play~. Let's go to~! 国旗カルタ取りゲームを行いながら、行きたい国を尋ね合う言い方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介カードを用いて、前時までに学習した、行きたい国を紹介する言い方を練習する。 大きな声ではっきりと言うように助言する。 デモンストレーションを行い、ゲームの進め方の理解を促す。 	T-S	掲示用 国旗 カード 紹介カ ード 国旗 カルタ

	<p>T: Put your hands on your head. S.all: Where do you want to go? T: I want to go to~. T: Let's start the game! Clockwise, please. S1: Put your hands on your head. S.all: Where do you want to go? S1: I want to go to~.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 英語ではっきりと聞いたり言ったりするように伝える。 グループになって、尋ねたり答えたりしてゲームを行いながら英語表現に慣れ親しませる。 グループ全員が練習できるように時計回りでゲームを進めることを伝える。 	<p>T-S S-S</p>	
<p>展開 1 (25)</p>	<p>○ 今日のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> おすすめの国を紹介して旅にさそおう。 </div> <p>○ おすすめの国の紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介し合う言い方を確認する。 3人組となって紹介ブースを作り、前後半5グループずつで紹介し合う。聞く側は紹介ブースを順番に5つまわっていく。 ワークシート等の資料を使って、おすすめの本を紹介し、ブースに来た友達を旅にさそう。 <p>S1: Where do you want to go? S1: What's this? S1: Hint, please! S2: It's ~. S2: I want to go to~. S2: You can eat/see/play~. Let's go to ~! S1: Great! Thank you. Bye. S2: Bye.</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介を聞いた児童はワークシートに内容を記入する。 紹介ブースの3人の紹介を聞いたら、指示に従い次のブースへ移動する。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> めあてを確認し、学習への意欲を高める。 ペープサートを使ってデモンストレーションを行い、活動の理解を促す。 国旗や写真等を使って、楽しく会話を進められるようにする。 伝える・聞く活動をしっかりに行えるように紹介する時間を各グループ2分程度で設定する。 1回目の紹介を終えたところで、様々な表現方法を使って伝えようとしている児童を称賛し、意欲をもたせる。 スムーズに進んでいないときはアドバイスをし、支援する。 ジェスチャー等を積極的に使うように助言する。 <p>◎積極的に、尋ねたり答えたりしようとしているか。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度]</p>	<p>S-S</p>	<p>ペープサート 国旗カード 絵・写真 紹介ワークシート 聞き取り用ワークシート</p>
<p>まとめ 挨拶 (5)</p>	<p>○ 振り返りカードに自身の取り組みについて記入する。 T: Good job! See you! S: See you!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時のスピーチへの意欲につながるように、良いところを伝える。 	<p>T-S</p>	<p>振り返りカード</p>

